



鳴鹿小学校

校長室だより

第6号 令和5年6月30日(金)



プール学習が始まりました

6月16日(金)に4・5・6年生でプール清掃を行い、20日(火)から水泳学習が始まりました。まだ少し肌寒いと感じる日もありますが、子どもたちは元気に水中での運動を楽しんでいます。限られた時間の中で、少しでも長く、速く泳ぐことができるように練習していきます。



避難訓練を行いました

今から75年前の1948年6月28日午後4時13分、福井大震災が起きました。坂井市、あわら市、福井市の多くの家が崩れ、その被害は石川県にまで及びました。震源地は、鳴鹿小学校から2kmぐらいしか離れていない場所でした。地震に加えて、火災が発生したため、多くの犠牲者が出ました。その数は、第2次世界大戦後の地震の中では東日本大震災(平成23年/2011年)と阪神・淡路大震災(平成7年/1995年)に次いで、3番目に多いといわれています。その福井地震が6月に起きたというのもあってか、福井では、6月に避難訓練をする学校がたくさんあります。

本校でも、6月21日(水)に避難訓練を行いました。緊急地震速報装置を使っのシェイクアウト訓練から、火災発生に伴う避難という内容での訓練でした。

避難後には、1~4年生は濃煙体験を行いました。5・6年生は救助袋体験の予定でしたが、降雨のため、災害ビデオ視聴学習を行いました。

子どもたちには、「災害は、いつ起きるか分かりません。もしかすると、自分一人の時に起きるかもしれません。避難訓練で習うことは、命を守るために大事なことばかりなのです。訓練していても、実際の災害の時には頭が真っ白になってしまって、訓練通りにはできないことも多いのです。だからこそ、訓練では全員が100点の避難をしなければ意味がありません。」という話をしました。



県教育委員会からのお知らせ

福井県教育庁義務教育課からお子様の興味関心や学習到達等に応じ、自主的・自発的な学びを支援するための、「ふくいわくわく学び Web」についての連絡がありましたのでご紹介します。家庭学習などでご活用ください。

内容：児童が学習に活用できる教材

- ・国語、社会、算数、理科、英語の基本的な教材や発展的・総合的な教材、興味 関心を高める教材（例 漢字や古典、算数の難問題 等）
- ・児童が楽しみながら取り組める教材（例 英語の歌やゲーム、クイズなどの動画 等）
- ・表現力を高める教材（例 プレゼンやスピーチの動画、読書感想文の書き方 等）

閲覧方法：「ふくいわくわく学び Web」で検索したり、右の QR コードを読み込んだりして、閲覧できます。

パスワード： 291（半角）



学校集会にて 6/29

1学期も残り1ヶ月となりました。1ヶ月といっても、実際に皆さんが登校してくるのは今日を入れて15日だけです。

そこで今日は、1学期の残り15日をどのように過ごすかというお話です。

さて、皆さんは昨日の夕食のおかずを覚えていますか？一昨日の夕食はどうでしょう。1週間前のおかずとなるとなかなか思い出せないと思います。さらに、1ヶ月前のおかずを聞かれたら、もうすっかり忘れてしまっていることでしょう。このように、私たちは、一度覚えたことでも、時間がたつと忘れてしまうのです。なぜ忘れてしまうかというと、毎日新しい情報が入ってくるので、古い情報を残しておく、頭がパンクしてしまうからです。ですから、忘れるということは頭がパンクしないための素晴らしい脳の働きなのです。

しかし、おかずのことならまだしも、勉強のことならどうでしょう。授業では毎日新しい情報が入ってきます。古い情報はすぐに忘れてしまいます。せっかく授業で学んだことが、時間とともに忘れてしまったら何も残らなくなりますね。

けれども、皆さんの脳には、素晴らしい働きもあります。それは、一度身につけてしまったことは、決して忘れないということです。例えば、2年生で習うかけ算の九九です。毎日毎日、カードを見ながら何回も唱えて、計算で使って、練習を繰り返しますね。そのうち、カードを見なくても出来るようになります。高学年になると、九九なんて当たり前のように口から出てきます。そして、それは大人になっても忘れることはありません。

勉強だけではありません。例えば、自転車。はじめは、補助輪をつけてしか乗れなかったものが、一度乗れるようになると、しばらく乗っていなくてもいつでも乗りこなすことができますね。校長先生は、最近、自転車に乗っていませんが、今でも、乗ろうと思えば、乗ることができます。一度身につけてしまったことは、決して忘れないのです。

ですから、忘れないようにするために、何回も繰り返しやるのが大事です。勉強については必ず復習することが大事です。学校で習ったことを、少しでも忘れないようにするために、先生方は皆さんに宿題を出すのです。しかも、「これだけは」という最小限の量の宿題です。皆さんは毎日、宿題を忘れずにやっていますか？

皆さんは、1学期の3ヶ月間に、たくさんのことを習いました。それらの大事なことを、学校に来ない夏休みの間に忘れてしまうことがないように、まとめや復習を頑張って、確実に身につける15日間にしましょう。（抜粋）